

# 物品販売申請書

おおぶ文化交流の杜 総合館長 様

下記のとおり物品販売を行いたいので許可願います。

なお、物品の販売について、購入者等からの問い合わせ・苦情・その他は私が責任を持って対処し、施設には一切の迷惑をおかけいたしません。

施設予約者		予約番号	
販売日時	年 月 日 時 分 ~	時 分	
販売場所			
催物名			
販売者・物品 (※書ききれない場合は任意の様式添付でも可)			
販売者	(施設予約者と同じときチェック⇒□この場合 下の名称・所在地は記入不要)		
	名称(氏名):		
	所在地(住所):		
販売責任者氏名	(団体の場合は、責任者個人名を記入。上欄と同じときチェック⇒□この場合記入不要)		
販売責任者電話番号	(販売時に連絡がつく番号)		
販売物品・価格  (販売できるものは裏面を確認してください)	食品の販売の有無 (○をつける) ⇒		
	有・・・ (この書類提出後、許可を受けてください) 無・・・ (この用紙の提出をもって販売を許可します)		
	チェック { □自ら製造する品がある→営業許可書添付要 □製造業者・小売卸業者より仕入		

裏面を確認してから、署名してください。

申請者氏名

連絡先電話番号

申請日

年 月 日

(以下はおおぶ文化交流の杜が記入します。)

上記申請を許可します。

ただし、許可後でも公序良俗に反するもの・方法など、当館で販売することが適当でないと施設が判断したときは、販売をお断りしますのでご注意ください。

受付	マネージャー	総合館長

おおぶ文化交流の杜 総合館長 印

- アローブ業務手順
- ①食品販売がある場合は、総合館長許可後、原本を申請者にお渡しする。  
食品販売がない場合は、申請書受取のみ(原本がアローブに残る)。
  - ②アローブ控は施設利用申請書と一緒にファイルする

(裏面)

## 物品販売について

1.施設内で物品の販売をするときは、事前に「物品販売申請書」を提出して、施設の許可を受けてください。

2.食品の販売の可否は下表をご確認ください。

販売物の種類	条件等	販売可否	提出していただく書類
乳製品 生肉 鮮魚	—	不可	—
酒	販売者が酒類小売業免許を受けており、容器に入っているもの	可	1.物品販売申請書 2.酒類小売業免許の写し
農産物(未加工)	施設を汚さないよう袋などに入っているもの	可	1.物品販売申請書
上記以外	容器に入っており、所定の表示※があるもの (※製造所、賞味期限、アレルギー表示、保存方法など)	可	1.物品販売申請書 2.営業許可証の写し(他から仕入れたものを売る場合は不要)

(注)アローブ内では、調理は一切不可。

試飲・試食は、販売可の物品に限り可

(例：その場でコーヒーを入れて試飲させることは不可。

缶入りコーヒーを容器に分けて試飲させることは可)。

3.公序良俗に反するもの・方法など、当館で販売することが適当でないと施設が判断したときは、「物品販売申請書」を受領した後でも販売をお断りします。

ご不明な点は、お問い合わせください。

おおぶ文化交流の杜 電話 0562-48-5155